

作文の評価方法

作文は毎回10名前後の熟達したイタリア人教育者が予め定められた評価基準に沿って採点し、結果を相互に再評価・検証しています。

評価に必要な項目ごとに非常に細かい点までチェック・採点し、各項目の合計点を得点としています。満点は20点です。

評価項目や評価要素、評価基準の詳細は非公開ですが、他の語学検定と同様の、常識的に推察していただける項目かと思われます。以下に評価要素の例を列記します：

文章の形態（主題への適合性、論旨の一貫性、語彙、文体）

文法的要素（綴りの正確さ、句読点、語形変化、構文）

該当の級に求められる語彙、文法レベルに達していないものは減点対象となります。また、テーマから外れた記述は採点対象となりません。

単語数が若干少なくても、また、多くても、そのことだけを理由に減点はしません。記述内容が充実しているかどうかを優先して評価されます。

特に、引き込まれる論旨やストーリー展開（面白さ）の答えは他の些細なミスを補って高評価を得る場合があります。イタリア的と言えるでしょうか。これは、過去の模範解答例を読めば察していただけるかと思います。